

所属 食健康科学部		職名 教授	氏名 三宅 義明	学位 博士（農学）	兼担している研究科 無し
研究分野 食品科学、生活科学			研究分野のキーワード 食品化学、食生活		
学歴					
1987年03月	三重大学農学部農芸化学科卒業				
1989年03月	三重大学大学院農学研究科農芸化学専攻修士課程修了				
1999年06月	名古屋大学大学院生命農学研究科 博士（農学） / 論文				
職歴					
1989年04月	株式会社ポッカコーポレーション中央研究所				
2003年05月	東海学園大学				
2017年04月	愛知淑徳大学				
I 研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
培地の炭素源による鯉節菌の抗酸化物質生産性について	共著	2021年05月	東海学園大学研究紀要 自然科学研究編 25	鈴木美沙・荻野目 望・山本真奈美・奥村香名子・近藤由季子・三宅義明・西田淑男.	27頁～35頁
Electron spin resonance analysis of different parts of mushrooms and their hydroxyl radical scavenging activities assessed by spin trapping method.	共著	2021年05月	Food Sci. Technol. Res. 27 3	T. KANNO, S. NAKAZAWA, E. HARADA, H. KAMEYA, Y. MIYAKE, K. SATO, T. TAKUI, T. OSAWA.	529頁～536頁
Analysis on the structure of phlorethols isolated from the warm-temperate brown seaweed Sargassum carpophyllum and their antioxidant properties.	共著	2022年06月	Nat. Prod. Commun. 17 6	R. TANIGUCHI, C. ITO, S. KEIYOKU, Y. MIYAKE, M. ITOIGAWA, T. MATSUI, T. SHIBATA.	1頁～7頁
Goishi tea leaf powder affects lower body weight and visceral fat accumulation during energy restriction in obese rats.	共著	2023年02月	The Journal of Medical Investigation 70 2	T. SEURA, T. KANNO, Y. MIYAKE, M. SOGAWA.	60頁～65頁
香辛料添加ドーナツの H-ORAC 法による抗酸化評価	共著	2023年04月	日本調理科学会誌 56 2	菅野友美・三宅義明	55頁～56頁
ハチミツの抗酸化活性とゼリー加工に及ぼす影響	共著	2024年04月	日本調理科学会誌 57 2	菅野友美・三宅義明.	100頁～106頁
根菜野菜における加熱処理の違いが抗酸化活性およびポリフェノールに与える影響	共著	2024年09月	日本食生活学会誌 35 2	菅野友美・三宅義明	91頁～97頁
キンカンが含有する3',5'-ジ-C-β-グルコピラノシルフロレンチンの特性	共著	2025年12月	日本食品化学学会誌 32 3	三宅義明・田中花奈・中田芽久美・岩瀬優里・小島えり・菅野友美	155頁～161頁
3種類のねぎ類におけるポリフェノール量と抗酸化能の比較：部位・保存および加熱処理への影響	共著	2026年04月	日本食生活学会誌 36 4	菅野友美・西澤早紀子・玉田葉月・三宅義明	225頁～232頁
学会発表					
数種のキノコのラジカル捕捉活性とミネラル含量に及ぼす部位の影響	共同発表	2021年08月	日本食品科学工学会 第68回大会(博多)		
マイタケ部位の抗酸化活性とミネラル含量	共同発表	2021年08月	日本調理科学会 2021年度大会(東京)		

Grifola gargal(アンニンコウ)水抽出物中の芳香族化合物の単離と構造決定	共同発表	2022年08月	日本食品科学工学会 第69回大会(東京)		
数種のハチミツのラジカル消去活性とミネラル含量	共同発表	2023年08月	日本食品科学工学会 第70回大会(京都)		
味噌汁における味噌とだしの抗酸化活性	共同発表	2024年09月	日本調理科学会 2024年度大会(神奈川)		
ねぎ類の抗酸化能とポリフェノール量	共同発表	2025年08月	日本調理科学会 2025年度大会(愛知)		
作品・制作等					
その他業績					
Ⅱ 学会等における主な活動					
受賞					
1998年10月	社団法人日本果汁協会技術賞受賞			「レモン果汁・エリオシトリンを中心とする生理機能に関する研究」	
2006年08月	日本食品科学工学会奨励賞受賞			「カンキツ果実フラボノイドを用いた機能性食素材の作製に関する研究」	
2018年09月14日	平成30年度日本果汁協会技術奨励賞受賞			「マイヤーレモンに含まれる抗発がんプロモーション活性物質についての研究」	
所属学会					
1996年01月 ～ 現在	日本食品科学工学会			2004年04月 ～ 現在 2022年04月 ～ 現在	中部支部運営委員 評議員
1997年01月 ～ 現在	日本栄養・食糧学会			2008年04月 ～ 現在	中部支部参与
2010年04月 ～ 現在	日本食生活学会				
2017年04月 ～ 現在	日本食品化学学会			2018年01月 ～ 現在 2021年01月 ～ 2022年12月	日本食品化学学会誌編集委員 評議員
2019年04月 ～ 現在	日本調理科学会				
2025年04月 ～ 現在	日本農芸化学会				
Ⅲ 社会活動					
2025年07月18日	展示会『第4回国際発酵・醸造食品産業展』東京ビッグサイト、発酵食品とポリフェノールの科学 「エビデンスが示す健康への新たな可能性」、第二部 発酵食品との相乗効果を科学する ～未利用資源の活用と健康への可能性～、講演				
2025年10月01日	家の光10月号、第101巻第10号p65～71「香酸柑橘」使いこなし術、監修、				
Ⅳ 教育活動					
教育実践上の主な業績			年 月 日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
5 大学運営					

学生部長	2018年04月 ～ 2022年03月	
健康医療科学部長	2022年04月 ～ 2024年03月	
食健康科学部長	2024年04月 ～ 現在	
V 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		